

令和 7 年 こども園における自己評価 認定こども園しおどめの森

4 : 十分達成している 3 : ほぼ達成している 2 : 検討を要する 1 : 改善を要する

項目	内容	評価	備考欄
ついて 教育・保育目標に	・目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか	4	・勤務年数が長い職員が増え、目標等理解が深まっている勤務年数が長い職員がいることにより、他職員に姿勢が示されていると感じる。
	・目標は、各施設や地域の特徴を生かしているか	3	
	・目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか	4	
	・目標は、前年度の反省を活かしながら全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	4	
教育・保育内容について	・指導計画は、教育保育計画に基づき作成しているか	4	・子どもの主体性を大切にした保育を心掛けたが、職員主導になってしまう活動もあったため、環境や援助の方法を見直したい。 ・子どもの姿を職員間で共有する機会があったが、保育への反映が十分でないこともあった。日々の情報共有をより充実させたい。
	・毎月の指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか	4	
	・月ごとに指導計画の評価・見直しをし、その結果を指導計画に反映させているか	4	
	・1日の流れ(日課)は、前日の評価をもとに日々改善に努めているか	4	
	・行事のねらいに沿った計画を立て、適切に実施しているか	4	
	・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っているか	4	
	・自主性や主体性を重んじて生活習慣が身につくようにしているか	4	
	・子どもの姿を見取り、興味関心に応じた教育・保育を行っているか	4	
	・子どもの発達や成長につながるよう環境の構成や援助の工夫をしているか	4	
	・同僚性を発揮し、保育のねらいや育てたい力を話し合い実践しているか	4	
	・素材・用具を適切に活用しているか	4	
	・保育サポートのための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮しているか	4	
	・子どもの人権に十分配慮し、互いに尊重する心を育てているか	4	

項目	内容	評価	備考欄
健康・安全について	・食育を通して、子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫しているか	4	・日々の健康管理や安全確認を意識し、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに努めた。 ・感染症対策や衛生管理、事故防止のための環境点検を継続して行うことができた。一方で、子どもの人数や活動内容によっては職員間の連携や見守り体制をさらに強化する必要があった。 ・ヒヤリハット事例を職員全員で共有し、事故予防につなげる取り組みをより充実させていきたい。
	・食物アレルギーは、個別に配慮して食事を提供しているか	4	
	・年齢に合った保健対策(発育・発達の把握、SIDS 予防、感染症対策等)を講じているか	4	
	・健康・安全な生活に必要な習慣や態度が身につくよう取り組んでいるかまた家庭への啓発を行っているか	4	
	・避難訓練や交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか		
	・乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか	4	
職員の質の向上	・職員の研修ニーズを把握し、職員に必要な研修機会を確保しているか	4	・職員の専門性向上を図るため、園内研修や日々の情報共有を行い、保育の質の向上に努めてきた。一方で、職員によって経験や知識に差があり、保育に対する考え方や対応方法にばらつきが見られる場面もあった。 ・園の教育・保育方針を全職員で共有し、子どもの姿をもとに話し合う機会を増やすことで、職員一人ひとりの専門性を高めていきたい。また、研修で得た知識を日々の保育に生かせるよう、実践につながる学びの機会を充実させていく。
	・研究主題は、教育・保育目標の具現化につながるものであるか	4	
	・研究・研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか	4	
	・各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか		
職員間について 運営管理・	・職務内容や相互の連携に必要な情報の共有方法が明確で、協働できる体制になっているか	4	・日々の業務については、職員同士が協力しながら対応できる体制づくりを進めてきたが、業務の偏りや情報共有の不足が見られる場面もあった。今後は、役割分担を明確にするとともに、職員同士が気軽に相談し、意見を出し合える職場環境づくりを進めていきたい。また、会議や連絡体制を
	・職員を適材適所に配置し、係や仕事の分担が能率的に行える組織になっているか	4	
	・各種会議や打合せを適切かつ効率的に進めているか		
	・職員は責務や職場での立場を理解し、協力を惜しむことなく施設の運営にかかわっているか	4	
	・運営改善の課題について把握し、計画的な取り組みを行うとともに、定期的に検証・見直しをしているか	4	

			見直し、全職員が共通理解を持って園運営に関われるよう改善していく。
守 秘 義 務 の 遵 守	・乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか	4	園児や保護者、職員に関する個人情報については、適切な管理と取扱いを徹底し、守秘義務の重要性を職員へ周知してきた。また、関係法令や行政からの通知等確認し、適正な園運営に努めてきた。
	・公文書收受、発送、処理を適切に行っているか	4	
	・各表簿は、適切に作成、処理しているか	4	

項目		内容	評価	
開 か れ た こ ど も 園 づ く り	施 設 ・ 知 識 と の 交 流 や 連 携	・他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか	4	・小学校へ行き、体験をしたり法人内の他施設を招いて一緒に過ごすことができた。
		・地域の様々な人と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか	4	
		・担当者同士が、事前打ち合わせや活動の振り返りを行い、互惠性のある交流になるよう工夫しているか	4	
		・合同研修や授業・保育の見学を通して互いの教育・保育に対して理解を深めているか	4	
		・乳幼児の興味や関心に基づいて地域の施設等を利用し、保育に活かしてしているか	4	
		・地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか	4	
		・子育て支援機関と情報共有しながら、連携をとっているか	4	
	子 育 て 支 援	・施設を開放し、地域の親子が遊べる場や機会の提供を行なっているか	4	・保護者の抱える悩みや家庭環境の変化など、多様なニーズに対して十分に寄り添う時間の確保が難しい場面もあった。今後は、保護者が気軽に相談できる環境づくりを進めるとともに、必要に応じて関係機関とも連携しながら、家庭の子育てを支援していきたい。
		・職員による「育児に係る子育て相談」は充実しているか	3	
		・医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか	3	
	情 報 発 行	・園だよりやクラスだより、ホームページ等で教育・保育内容を発信し、理解をしてもらうよう努めているか	4	

		・地域の連絡会等でこども園の取り組みを発信するとともに、地域施設の事業について知り、教育・保育の充実に役立てているか	4	・園だより、SNS などを利用し情報発信を行ったが、次年度はホームページでの発信も増やしていきたい。
	外部評価	・第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか	4	
		・地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか	4	
	施設・設備	・施設内外の設備や遊具の安全点検を計画的に行っているか	4	
		・遊具や用具等を、活用しやすいように整理、保管しているか	4	
		・災害や不審者等に対応する整備を行っているか	5	
		・掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか	3	
経理出納		・各種会計を適正かつ適切に処理しているか	5	

成果

- ・育児担当制を始め、職員と試行錯誤しながらの保育運営だったが、設定保育時より子どもたちの姿が変わり、子ども達が主体的に遊び、一人ひとりの発達にあった関わりができた。
- ・課業（わらべうた、文学、環境認識、毎日体操、描画）を導入し、子ども達が色々なことに興味を持ち、遊びを通して学ぶことができた。
- ・視察や地方研修へ行くことで職員のモチベーションがあがり、保育にも良い影響を与えられた。
- ・運動会、あそび発表会、では、子ども達が主体的に関わり、普段の保育内容を感じることができる内容になった。
「日々の保育に工夫を凝らし子どもが楽しく通えています」、「他の園とは違う発表内容でいつも楽しみです」など、保護者の方のご意見がとても嬉しかった。
- ・ブログや SNS で子どもたちの姿を発信し、保護者との会話も以前より楽しいものとなった。
- ・給食指導では適量を知る活動を始め、嫌いなものも少し頑張って食べてみようとする姿もあり、保護者の方から家でも食べられるようになったお話をいただいた。
- ・年4回、ハンガリーより講師を招き保育を見もらったことにより保育の質の向上が少しずつできた。また、同じ保育をする他園にも視察へ行き、保育を学ぶ機会を設けたことにより保育・教育がさらに深まり職員もステップアップとなった。

課題

- ・保護者の方が更に安心して預けられるこども園を目指し、「いつでも相談できる」「隠さず、丁寧に説明してくれる」「誰に聞いても同じ対応をしてくれる」を職員へ指導していきたい。職員によって説明や対応が異なると、不信感につながり、園内で情報共有を行い、対応を統一していく。
- ・子ども一人ひとりに合わせた保育を目指し、まずは、その子を理解することから始めます。同じ年齢でも発達や性格は一人ひとり違うことを理解し保育を進めていく。
- ・情報発信をこまめに行い、園だより、コドモンのドキュメンテーションを利用していく。

改善策

- ・全学年で行事を行い、楽しめるよう工夫していく。
- ・主幹教諭が各クラスにフォローに入ることによって担任や保護者の思いや悩みを把握し相談役になることができる。これらの情報を主幹教諭・管理職で共有しながら子育て支援の方向性を話し合い、園全体で連携しながら子育て支援に取り組んでいきたい。
- ・保護者へは、園の方針や子供の様子、参観の実施などで様々な機会をとらえて保育内容について啓発していきたい。
- ・年度初めに各学年で「育てたいこども像」について話し合いを持ち、1年間の見通しを立てた保育ができるよう取り組んでいく。
- ・子どもや保育教諭間で伝え合う言葉が肯定的になるよう職員会議や研修等で学び合う機会を作る。
- ・年間を通して保護者には行事予定を早めに知らせていく。
- ・課業（毎日体操・環境認識・文学・わらべうた・描画）では、子どもの発達にあった物が提供できるよう更に学びを深めていく。